

合格体験記 (73期生)

令和3年6月作成

()期 ()年 ()組 ()番
名前 ()

八尾高校の在校生の皆さん、今春の卒業生（73期生）の「合格体験記」がまとまりました。73期生は、大学入試改革初年度であり、また新型コロナの感染拡大により、様々な意味で大変な中、最後まで頑張り抜いた生徒が多くいました。

みなさんの直近の先輩が、君たちの“第1志望”の実現のためにアドバイスを送ってくれています。今後の受験に向けた取り組みについて参考になることが、たくさん記載されています。例年通り、「クラブ活動との両立」、「日常における学習方法」、「受験に向けて大切なこと」など、項目別を書いてもらいました。“先輩たちの合格体験記を繰り返して読むことで、モチベーションを維持して頑張れた”という声も多く聞こえてきました。是非、しっかりと読んで、今後の学習活動や進路実現に向けた取り組みの参考にしてもらいたいと思います。

進路指導部

目 次

◎国公立大学

【前期合格】

① 大阪大学	理学部	吹奏楽部
② 神戸大学	工学部	卓球部
③ 大阪市立大学	医学部 医学科	軽音楽部
④ 大阪市立大学	商学部	ハンドボール部
⑤ 大阪市立大学	文学部	
⑥ 大阪市立大学	文学部	器械体操部
⑦ 大阪教育大学	教育学部	バスケットボール部
⑧ 愛媛大学	理学部	吹奏楽部
⑨ 奈良県立医科大学	医学部 看護学科	バドミントン部
⑩ 神戸市外国語大学	外国語学部	

【中期合格】

⑪ 大阪府立大学	工学域	硬式テニス部
----------	-----	--------

【後期合格】

⑫ 大阪府立大学	地域保健学域	バレーボール部
----------	--------	---------

【学校推薦型合格】

⑬ 大阪府立大学	現代システム科学域	書道部
----------	-----------	-----

【総合型合格】

⑭ 岡山大学	教育学部	ハンドボール部
--------	------	---------

◎私立大学

⑮ 同志社大学	文学部	バスケットボール部
⑯ 関西学院大学	社会学部	ハンドボール部
⑰ 早稲田大学	社会科学部	バスケットボール部

①R. S さん 大阪大学 理学部 前期合格 吹奏楽部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活動をしていた時期、特に一、二年次は部活に集中しており、自主的に学習することは数学を除いてほとんどなく、習慣としての両立はできていたとはあまり言えない。

(2) 1.2年時の学習方法

YouTubeの数学の動画をみたり、ネット上の数学のサイトなどを気が向いたときに見たりと、趣味程度に数学を勉強していた(数Ⅲ予習レベル)。ほかの教科はほとんど定期テスト対策のみで、受験対策は特にしていなかった。

(3) 志望校の決定について

なんとなく大阪大学を考えていたのがそのまま第一志望になっていた。学部は、理数に興味があったのでそれについて勉強できる理学部に行くことは早い段階から決めており、学科は10月末あたりに決定した。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

教科書を読んで物理の電磁気や有機化学の予習をし、理科は重要問題集、数学はフォーカスワールドで問題演習を進めた。このころからシステム英単語帳で単語を覚え始めた。自粛期間中は授業がなく時間があつたので、Yahoo知恵袋の数学の質問に回答していた。自粛期間明けに学校の講習を受講した。特に漢文は毎週ふれて慣れていくだけで有利になるのでおすすめ。

②夏休み

英文解釈100で和訳対策を始めた。要注意文法の勉強だけでなく、補足の単語も見ずにわからない単語はなるべく推測で埋めて自分で和訳し、その後わからなかった単語を調べるという方法をとった。

③9月～11月

このころから本格的に共通テスト対策を始めた。模試の問題集で演習をし、間違えたところを中心に復習することを繰り返していた。また、放課後に教室に残って友達と勉強することが多くなった。

④共通テスト前

単純に共通テスト対策を9～11月同様に進めた。また、同時進行で二次試験の過去問演習をした。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

とにかく過去問を解いた。英語は自分で採点するのが難しかったので、英語の先生に添削してもらっていた。

*私立入試直前

私立は受けていません。

(5) 大学受験で大切なこと

自分に合った勉強法を確立することが重要だと思う。僕の場合、あまり長時間集中ができるタイプではなかったため、高校受験の時、無理に勉強しすぎて挫折してしまったことがあった。しかし、気が向いた時間にすればいいや、というくらいの気持ちで短時間集中型にするとうまくいった。また、友達と一緒に勉強するのもやる気が起きやすくなっておすすめ。人それぞれ合う方法が異なると思うので、自分の勉強法を模索すべきである。

(6) 後輩へのメッセージ

模試を受けて、とても悪い点数・判定をとってしまって落ち込んでいる人は少なくないと思います。しかし、受験直前に二年生向け模試の問題をやってみて全然できなかったことがあります。この時期の模試はとても厳しく作られているものが多いと思うので焦る必要はないです。もちろん油断するのもいけないので、メリハリをつけて勉強しましょう。健闘を祈っています。

②T. Iさん 神戸大学 工学部 前期合格 卓球部

(1) 教科外活動（部活動）と学習との両立について

部活がある日は疲れて勉強しない日も多かったですが、できるだけ毎日少しは勉強するようにしていました。部活が大変で勉強する時間がないという人も、小テストや定期テストの勉強は頑張ってください。

(2) 1.2年時の学習方法

塾に入ってなかったため、帰宅後30~60分ほど学校の問題集をやり、定期テスト前になるとテスト範囲分の課題を終わらせるくらいしかしていませんでした。1.2年の範囲が全然わかっていないと、その分3年生での勉強量が増えるので学校の授業は1.2年のうちに理解した方がいいと思います。

(3) 志望校の決定について

高校3年の4月の時点ではなんとなく大阪市立大学を志望していたのですが、受験勉強を始めるに当たって、上のレベルを目指した方がモチベーションが出ると思い神戸大学に決めました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

自分たちの代は4、5月はコロナ休校だったので、部活どころか引退試合もなくなり、ずっと家にいたにもかかわらず、ほとんど勉強していませんでした。この時に塾に入ったため、映像授業は見ていましたが、それくらいしかやってなかったです。僕は後から後悔したので、そうならないように勉強してください。少なくとも英単語帳くらいはやりましょう。

②夏休み

例年よりも夏休みが短かったので、塾の夏期講習とその予習復習でほとんどが費やされました。残った時間は自分の参考書を進めました。夏休みで英数が固まるととても有利だと思うので集中して一日8時間以上は勉強するといいと思います。

③9月～11月

学校で文化祭の準備を手伝いつつ、物理と化学を中心に勉強していきました。この時期は勉強がしんどくなって勉強時間が減るかもしれませんが、その間にも入試は刻々と迫ってくるので、12月に入る前に2次試験で使う科目はある程度固めておきましょう。

④共通テスト前

共通テスト1ヶ月前からはひたすら共通テスト形式の問題を解きまくりました。共通テストは演習量がものをいうのでひたすらに量をこなしましょう。1週間前にはいくつかの予想問題パックを解きました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

過去問演習と理解が怪しい範囲の再確認を行いました。過去問は英語と数学は15年、物理と化学は8年分解きました。共通テストが終わってから気が緩んで全然勉強できませんでしたが、最低限はこなすようにしました。

*私立入試直前

関西大学と同志社大学を一般受験で受けましたが、実力的に受かるか不安だったので過去問はそれぞれ4年分解きました。その結果、すべて合格することができて国立2次試験の前に自信をつけられたので、私立大学も過去問をしっかりとやるといいと思います。

(5) 大学受験で大切なこと

受験勉強をしていくうちに、様々な不安が出てくると思います。でも不安じゃない受験生なんていないので深く考えずにとりあえず勉強しましょう。疲れたときは丸1日勉強せずに好きなことをやって過ごしてもいいです。志望校は共通テストが終わるまでは下げなくていいと思います。自分も秋のオープン模試はD判定でした。成績は後から伸びてくる可能性が大きいので、自分を信じてください。

(6) 後輩へのメッセージ

受験生としての1年はとてもしんどく、しかし同時にとても充実した1年でもありました。受験が終わったときに、胸を張って自分はやりきったと思えるように過ごしてください。

③T. Iさん 大阪市立大学 医学部 医学科 前期合格 軽音楽部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

僕は軽音楽部に所属していて、2年生の12月の引退までは受験勉強はしていませんでした。引退まではなかなか受験勉強をする気が起きず、引退までは最低限の勉強として定期試験を頑張って、残りの時間は部活を楽しもうと決め、定期試験勉強を頑張っていました。もちろん受験に直結するという意味では受験勉強をするのが一番ですが、定期試験を頑張ることで受験に必要な集中力や計画の立て方などが身に付きました。ベストとは言えないですが、一つの両立の形として参考にしてください。

(2) 1.2年時の学習方法

1.2年時は受験勉強ではなく定期試験勉強をして、残りの時間は部活や趣味に使っていました。試験の2週間前くらいから少しずつ始めて、一週間前から試験前日には一日当たり5、6時間程度勉強していたと思います。引退までは受験勉強はしていませんでしたが、やっぱり少しずつでも受験勉強に切り替えていけば良かったなあと思います。部活などで忙しい人は、まずは定期試験を頑張ってみて、少しずつ受験勉強に移行していくというのがやりやすくていいと思います。

(3) 志望校の決定について

僕は医学部には絶対行きたかったのですが、金銭面的に私立は受けられなかったので、国公立の医学部という条件のもと、阪大は無理だからとりあえず、という程度の気持ちで志望校を市大にしました。ですが模試を受けて全く実力が足りていないことに気づき、無理なら別の大学にしようと考えていたにですが、一度実際に市大に見学に行った際に、やっぱり絶対にこの大学に行きたいと思って、最後まで市大志望を貫こうと決めました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前→春休み～夏休み前（部活は二年時に引退したため。）

三年生の春休みからは本格的に受験勉強をスタートさせました。この時期に大事なことは基礎を固めることと、勉強する習慣をつけることです。特に数学や英語はこのタイミングで基礎ができていのかどうかで今後の伸びが大きく変わってくるので、重点を置いて進めるといいと思います。また、ここで勉強習慣をつけられないと一年間だらけてしまうと思ったので、しんどかったですが我慢して毎日机に向かうようにしていました。この時期もこれ以降も勉強時間は一日当たり10時間前後でした。

②夏休み

夏休みには英、数、理をメインに勉強しました。夏休み前までに基礎を固めた分野はさらに応用的な問題を、新しく習ったり、自身で予習をした分野は基礎的な問題を解いていました。夏休みは一気に勉強を進めるチャンスです。二次試験でも必要になるような重めの科目をこの機会に一通り仕上げる、ということを意識して勉強していました。逆に共通テストでしか使わないような科目は軽く触れる程度でもいいと思います。

③9月～11月

この時期には少し難しめの問題集にも手を出して、とにかくいろんな問題に触れることを意識していました。また共通テストのみの科目もこの時期から本格的に手を付け始めました。また難関大を狙う人（特に理系）は、まだ未学習の範囲があったりする場合、この時期には全科目全範囲を一通り頭に入れておかないとしんどいと思います。僕の場合は全科目全範囲において、共通テストレベルであれば概ね理解できる、というレベルを目安に勉強していました。

④共通テスト前

この時期には共通テストの予想問題集を中心に、とにかく共通テスト形式の問題を数多く解くようにしていました。共通テストに関しては、基礎学力+形式慣れで点数が決まると思います。不安な分野や苦手な分野はこれまで使っていた問題集に戻りつつ、予想問題集やこれまでの模試を何度も解いて形式に慣れることを意識していました。時間配分は共通：二次＝8：2（共通直前はほぼ完全に共通に当てていました）くらいでしたが、これは自分の志望校の共通テストの配分

などによって判断してください。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

とにかく過去問とこれまでやってきた問題集を繰り返していました。過去問を2, 3日に一回くらしいのペースで解き、そのほかの時間はこれまでに使っていた問題集を何度も解くようにしていました。この時期から新しい問題集をやっても定着しないので、基本的に新しい教材には手を出さないようにしていました。過去問と問題集を回しながら定期的に暗記物(無期、有機化学など)をチェックする、というやり方を二次試験前日まで続けていました。

*私立入試直前 私立は受けていません。

(5) 大学受験で大切なこと

難関大を受験する人に大事にしてほしいのは予習です。高校によっては三年になるまでに全範囲が終わっていたりするので、遅くとも秋には全範囲を終えてほしいです。僕はYouTubeの授業動画で予習をしていました。それから、なんとなく塾に行くぐらいであれば行かないほうがいいです。(明確なメリットがあってそれをわかっているなら塾を利用するのは全く問題ないと思います。)僕のようにYouTubeを使ったり、成績のいい人に勉強のやり方を訊いたりすることもできるので、とりあえず受験生だからという理由で塾に行くのは絶対にやめたほうがいいです。

(6) 後輩へのメッセージ

ありきたりですが、最後まで第一志望を諦めないでほしいです。共通テストで失敗して、二次試験の手ごたえもなかったのに合格した友人もいます。僕も初めはE判定でした。第一志望くらい背伸びしてもいいと思います。可否に関わらず、受験を頑張ることができたという経験と自信は、絶対ムダにはならないです。お金のためとかとか学歴のためとかとかモチベーションのためとか、そんな理由でも努力できるのならそれでいいと思います。最後まで頑張ってください。

④H. Uさん 大阪市立大学 商学部 前期合格 ハンドボール部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

八尾高生は部活動を頑張っている人が多いので、勉強との両立に悩んでいる人も多いと思います。私は、まずは睡眠時間をしっかりとることが大切だと思います。睡眠時間が短いと授業に集中できません。もちろん部活動にも。しっかり寝て、授業は集中して受けて、終わってから全力で部活をするといったメリハリを持つことが大切だと思います。

(2) 1.2年時の学習方法

部活動がほとんど毎日あったので、家に帰ってからあまり勉強はできていませんでした。でも、小テストがある日は少し早く起きて勉強したり、自分が苦手な教科は授業が始まる前に前回の授業の内容を確認したりしていました。テスト勉強は一週間前から始めていたので、日程や範囲を見てある程度計画を立ててしていました。苦手な範囲は得意な友達に聞いてみたり、暗記科目は友達同士で問題を出し合ったりして覚えていました。

(3) 志望校の決定について

大学のことをちゃんと考え出したのは、高2の3月頃でした。正直そのころはまだ受験勉強はしてなくて、大学のレベルもあまり分からずに、家から近い国公立大学だというだけで決めました。それでも色々調べていくうちに本当にこの大学に行きたい！と思うようになりました。その時の私の学力だったら厳しいこともわかっていましたが、挑戦することにしました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

コロナで新学期からの休校が決まり、引退試合はもうできないなど気持ちを切り替えて勉強を始めました。今まで受験勉強という受験勉強をしてこなかったもので、まずは国数英の基礎からはじめました。英語、古典、漢文の文法はスタディサプリというアプリで勉強していました。数学はサクシードを解きなおしました。基礎を固めるために復習を大事にしていました。最初はしんどかったのですが、だんだん慣れてきて4・5月は毎日10時間ほど勉強していました。

②夏休み

引退試合ができることになって、受験勉強への焦りはありましたが、参加することにしました。部活はしっかり最後までやりきったほうがいいです。試合に出てなかったら絶対後悔していたと思います。勉強を始めるのが遅かったので、夏休みもまだ基礎を固めていました。夏休みはほとんど部活だったのであまり何もできず、共通テストの試行調査の問題を解いてみましたが5割ほどしかありませんでした。

③9月～11月

夏休みが終わり、文化祭、体育祭と行事が続く、勉強をやる気がなくなってしまいました。模試の成績も伸びず、周りの友達は私立専願の子が多く、私も国公立は諦めようかなと思っていました。それでも一度決めたことを諦めるのは嫌で、不安で寝られない日が続きながらも頑張りました。特に理科と社会をこの時期から勉強したので、必死でした。共通テストの過去問がなかったのでセンター試験の過去問を解きながら知識を定着させていきました。

④共通テスト前

私は12月ごろから塾に行きました。共通テスト直前になって不安が大きくなったためです。今まで一人でやっていたため、塾に行くモチベーションがあがり、頑張れました。英語の速読が苦手だと相談したところ、音読をしたらいいよと言われて毎日30分しました。本当に読めるようになりました。国数英は、毎日一問予想問題を解くようにして感覚を忘れないようにしていました。理社は間違えた問題をとにかくやり直して抜けがなくなるように勉強しました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

共通テストの点数が低く、二次試験で挽回しなければいけなかったので必死でした。国語と英語は同じ問題を解いてもあまり意味がないので10年分解きました。国語は、一度問題を解いて、解答に近いものが書けるまで塾の先生にみてもらいながら何回も書き直しました。英語は、まず英作文の練習をしました。過去問は、分からなかった単語や表現をノートに書いて定期的に復習したり、解いた問題の英文を音読しました。数学は4年分を解き、間違えた問題を解けるようになるまで何回も解きなおしました。毎日、15時間ほど勉強していました。

*私立入試直前

11月に近畿大学の公募推薦で私立を押さえていたので、共通テストの点数が低かったこともあり、国公立の二次試験に集中したかったため、私立大学の一般は受けませんでした。国公立が無理だったら、近大に行こうと決めて受けなかったのですが、国公立の二次試験が近づくにつれて、これだけ勉強しているのに11月に押さえた大学に行くのは絶対に嫌だという気持ちになりました。二次試験前の最後の1週間はその気持ちだけで乗り越えたと思います。

(5) 大学受験で大切なこと

気持ちが一番大切だと思います。モチベーションをずっと高く持ち続けられる人はほとんどいません。モチベーションが下がってしまったときにどう切り抜けるかがポイントだと思います。私が10・11月頃にモチベーションが下がってしまっていた時は、自分ひとりで抱え込みすぎている気がします。塾に行きだしてから周りの人に相談できるようになりました。共通テストの点数が低くて落ち込んだときは友達に話しました。二次試験の勉強がつらくなったときは友達に電話しました。誰か一人でもいいのでつらくなったときに話せる人がいたらいいと思います。あとは最後まで諦めない気持ちです。何回も途中で諦めようかなと思ったけど、最後まで志望校を変えることなく頑張り続けて本当に良かったと思います。共通テストが悪かったとしても二次試験で挽回することもできます。今まで頑張ってきたことは無駄じゃなかったなと感じました。

(6) 後輩へのメッセージ

長かった受験勉強を通して私が思ったことは、こんなにも自分を何回も見つめなおした時間は今までになかったなということです。勉強は自分がやるかやらないかです。だから、受験勉強は自分との戦いです。自分にどうやってやる気を起こさせるか、集中力を保たせるか。また、自分が今までいろいろ頑張ってきたのは家族の支えのおかげだったことにも気づくことができました。この受験期に初めてきちんと感謝の気持ちを伝えたいと思います。勉強だけでなく、たくさんの方に気づかせてくれた受験勉強でとても成長できたと思うし、受験を頑張った経験はこれからも生かせるものだと感じます。受験勉強はしんどいこともあるけれど、それ以上に良い経験となると思います。より多くの後輩に受験を頑張ってもらいたいです。応援しています！

⑤S. Tさん 大阪市立大学 文学部 前期合格 部所属なし

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

一年生の途中までは吹奏楽部に所属していましたが、諸事情により退部しました。吹奏楽部にいた頃は、特に高校から始めたこともあり練習が大変ではありましたが、時間的にも体力的にも学習との両立は十分可能でした。そうは言うものの、英検の勉強ばかりで、授業の予習や復習は全くやっていなかったのが両立ができていたかというところ微妙だったかもしれません。

(2) 1.2年時の学習方法

1.2年時は受験を意識することなく過ごしており、精神的に不安定だった事もあり、勉強に身が入りませんでした。授業の予習復習はおろか、提出課題さえ疎かにしてしまっていました。

(3) 志望校の決定について

3年のある時期までは、英語が得意だという理由と、苦手な数学が必要ないので合格可能性が高いという理由で、あまり強い意思はなく神戸市外国語大学を志望していました。しかし、3年で倫理という科目に出会い、そこから元々興味があった哲学を本格的に学びたいと思い始めました。しかし、性格上すぐに志望校を変更する決断ができず、結局10月末というギリギリのタイミングで、志望校を大阪市立大学文学部に変更しました。志望校の選択に関しては、考慮に入れる要素が沢山あり、真剣に考えるとすごく悩み込んでしまうと思います。しかし、自分の人生についてじっくり考える良い機会だと思うので、とことん悩んで決めることをお勧めします。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

3年時は部に所属していなかったので、夏休み前の学習について。COVID-19の影響で暫くはオンライン授業で、平時より家での自由時間が増えました。しかし、その頃はまだ心から行きたいと思う大学もなく、課題をこなすだけで、特に勉強を頑張った記憶はありません。

②夏休み

「夏は受験の天王山」とよく言われていますが、私の場合はやっと本腰を入れた時期でした。配点の高い国語を安定させておきたいと思い、国語を中心に勉強していました。科目別の勉強法は以下の通りです。

国語：古文漢文を重点的に勉強。必要事項の暗記と問題慣れで、共通テストレベルの問題は安定して得点できるようになる。

英語：単語や熟語の暗記を中心に。長文はたまに読む程度。

理科基礎、倫理：学校で購入した問題集を解く。

③9月～11月

9～10月は理科基礎の得点を安定させておきたいと思い、重点的に勉強していました。11月からは志望校変更の都合で数学と日本史を勉強することになり、その2科目に時間を割きました。

国語：授業での過去問演習のみ。／英語：長文の比重を増やし、二次の英作の勉強も開始。

理科基礎：マーク式問題集を集中して解き、苦手分野を見つけて覚えていく。

倫理：講習での過去問演習のみ。

数学：緑チャートで一度全範囲を解き、伸び代がある分野を重点的に勉強。

ベクトルが壊滅的だったので、「確率分布と統計的な推測」の勉強を始める。

日本史：通史の暗記と問題演習を同時並行でやりながら一通り覚える。

④共通テスト前

センター試験過去問や共通テスト予想問題といった実戦的な問題を時間を計って解き、形式に慣れながら抜けている知識がないかを確認し、本番の目標得点や時間配分を具体的に設定していききました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

本格的に記述対策を始めました。

国語：現代文、古文、漢文共に「得点奪取（河合出版）」を一通り解き、回答作成の方法を身に

付ける。その後は赤本を年度別に解き、自己採点の中で自分の間違いの傾向を知る。

英語：赤本を年度別に解き、傾向を知る。大阪市立大学では小説から引用した問題が出されるので、その対策を重点的に行なった。英語長文問題全般に言えることだが、解いた後に知らなかった単語をメモに蓄積することと、音読で読むリズムを掴むことが最も大切だと思う。

*私立入試直前

私立は共通テスト利用で同志社(文)、関学(国際)、関大(外語)に出願し、一般では関大(外語)を受験しました。数日前に赤本を少し問きましたが、国公立二次の勉強をしていれば知識的には問題ないと思ったので特に時間は割きませんでした。

(5) 大学受験で大切なこと

あなたが合格するためにすべきことは何かを一度考えてみて下さい。それは決して1日10時間勉強することでも、持っている参考書を全て解き終えることでもありません。「試験当日に解答用紙に正しい答えを記入すること」ただそれだけです。誤解を恐れずに言うと、それさえできれば試験当日までに1秒たりとも勉強しなくても合格はできるのです。ここで私が言いたいのは、決して勉強しなくていいということではなく、本質的な目的を忘れて闇雲に勉強するのは無意味だということです。勉強の内容に限らず、その行動は「試験当日に正しい答えを記入すること」にどう繋がっているのかを意識して過ごしてみてください。そうすれば、周りに流されて塾に行ったり、勉強時間に囚われたり、情報に踊らされたりする事なく、自分で合格に必要な事を考え、実行することができると思います。

(6) 後輩へのメッセージ

上述の通り私は受験を意識し始めたり、受験校を確定した時期が非常に遅いものでした。しかし、自分の頭で合格のために必要なことを考え、実行することで、手前味噌ではありますが、塾に行かずとも出願した大学全てに合格することができました。あなたが今何年生かは分かりませんが、この合格体験記をここまで読んでいる時点で、受験への意識は少なくとも私以上には、十分にあると思います。あとはきちんと目的意識を持って自分の頭で考えることを忘れなければきっと有意義な受験生活になるでしょう。健闘を祈ります。

⑥S. Sさん 大阪市立大学 文学部 前期合格 器械体操部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活の時間は勉強から離れて思いっきり体を動かせる時間だったので、毎日練習に行くのが楽しみでした。自分より先に引退した人や、帰宅部の人との間に勉強時間の差ができてしまうのではないかと不安なときもありましたが、個人的に受験勉強においてメリハリを一番大事にしていたので、その分、授業中や部活後の時間に集中して勉強しようと決めていました。受験勉強をしながらも、引退試合まで部活を続けられたことは、自信にも繋がっていると思います。

(2) 1.2年時の学習方法

私の場合、予習は必要な場合しかしていませんでした。ですが、毎日の授業は真剣に取り組もうと決めていたので、授業中に自発的に寝ることはせず、積極的に発言したり、たくさんメモを取るようになっていました。結局一番大事なことは、いかに授業に集中して取り組めるかだと思います。また、テスト勉強は2週間前から始めていました。

(3) 志望校の決定について

私が志望校を決めた時期は一年生の後期あたりでした。決め手となったのは、家からの通いやすさと、元々あったその大学への憧れでした。私は大学を先に決めてからなんとなく学部等を選択してしまいましたが、本来ならば学びたいことが学べる学部、環境が整っているかを優先して決めるべきです。やりたいことが明確に決まっているとしないでは、勉強に対する熱意が全然違ってくるからです。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

私は塾に通っていたので、基本的に毎日学校で授業を受け、部活に取り組み、そのあと直ぐに塾に向かって閉校時間まで勉強する、ということを繰り返していました。塾では授業の受講や、演習や、学校の授業の復習を主にしていました。また、この時期は特に基礎的な英語や古典の単語、文法を完璧にしようと頑張っていました。

②夏休み

夏休み期間は、通っていた塾の方針により、ひたすらセンター試験の過去問の演習をしていました。合計で10年ほど全受験科目の問題を解きました。このことにより、早めに頻出範囲や問題傾向などを知ることができたり、目標点に対して自分がどの程度の位置にいるのかが分かったりして、後々の勉強予定を立てる際にとっても役立ちました。また、私は夏休みには部活を引退していたので、勉強時間を増やすことも意識していました。

③9月～11月

この時期はいったん共通テストの演習は控えめにして、主に二次試験の過去問を解いていました。早くから過去問を解くことで、よく出る範囲に対して、自分の苦手な範囲をつかむことができ、それを参考にしてこれからの学習計画を立てることができるからです。ただ、共通テスト演習は控えめとは言っても、暗記科目の内容や、問題を解く感覚を忘れない程度に触っておくことが大切です。

④共通テスト前

とにかく問題を多く解くことを意識していました。苦手な数学はもちろん、解答にスピードが要求される国語、英語は少量でもいいので必ず毎日触れるようにしていました。毎日解くことで、問題形式に慣れていき、だんだんと解くスピードが速くなっていくのが実感できました。また、この時期は新しい参考書などには手を付けず、すでに何週もしているものに取り組んで、暗記漏れがないかの確認を行うようにしていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

これも共通テストと同じく、とにかく過去問を解いていました。二次試験は各大学の傾向を掴

むことが大切なので、そのことも意識していました。また、先生方に記述の採点をしていただき、記述問題の回答の書き方、取り組み方を教わっていました。

*私立入試直前 私立は受けていないので、対策はしていませんでした。

(5) 大学受験で大切なこと

とにかく過去問を「早い時期」から、「多く」取り組むことが大切です。特にセンター試験や共通テストは、大体の問題のつくりや問われ方は毎年共通しているので、それを過去問から学んでインプットし、また問題を解くことでアウトプットしていくことを続けると、点数は自然と上がっていくと思います。過去問を上手に活用できる人は、受験において本当に強いです。

(6) 後輩へのメッセージ

これからたくさんの壁にぶつかったり、判定が思うようになかったりして、悩むことが何度もあると思います。そんな時には自分がなぜ第一志望校に行きたいのか、そこで何を学びたいのか、といった自分の原動力を思い返してみてください。また、受験勉強においてメリハリをつけることは非常に大切なので、疲れたときは無理せずに友達と話したりして、適度に休憩をとってほしいと思います。私の経験が皆さんの受験勉強の参考になれば幸いです。

⑦A. Iさん 大阪教育大学 教育学部 (小中国語) 前期合格 バスケットボール部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

私は1,2年生の頃は特にクラブ活動が盛んなクラブだったので両立はそこまでできていなかったと思います。テスト勉強はしっかりしていたけど本当にそれくらいしか勉強していなかったです。絶対にしたほうがいいのは授業の小テストを頑張ること、一日少しでもいいから勉強する習慣をつけることです。もし私が高校1,2年生に戻ったら絶対します!(笑)でもクラブを頑張ることで最後までやりきる力がついたと私は思うのでクラブを頑張るのも大切だと思います。

(2) 1,2年時の学習方法

私は1,2年生の時は定期テストの勉強と小テストの勉強しかしていませんでした。定期テストは真剣に取り組んでいましたがその勉強も、テストが1,2週間前に詰め込むといったものなので本当に定期テストのための勉強になっていました。積み上げていく数学、英語などは絶対早くから意識して勉強したほうがいいです。私は3年から基礎をやり直したのですごく大変だったし、しんどかったです。最低限、定期テストと小テストの勉強は頑張ったほうがいいです!!

(3) 志望校の決定について

国公立を目指そうと最初は考えていて家から近い方がいいなと思っていました。OCに行ったときによいと思ったし教師になりたいと思ったので決めました。好きな教科が多かったので学部を決めたのは3年になってからと遅かったです。早いうちから大学を探したほうがいいと思います。そして絶対いきたいと思えるところを見つけたら目標にもなるからモチベーションも上がると思います。焦って決めるものではないけど時間がある間にいろいろ自分の進路について考えるといいと思います。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

3年に上がるときにコロナウイルスが流行りだし自粛期間となったので私はこれまでの遅れをとり戻そうと思い毎日勉強を8～10時間していました。ここで勉強習慣をつけることができました。今年はどうなるかわからないけど私は最後までやりきってほしいです。それで気持ち的にも切り替えることができますと思います。この時期は英単語、古文単語、日本史の通史をしていました。特にしてほしいのは英単語です。これは1年生も今すぐにやり始めて損はありません。大事です!!

②夏休み

夏にしていた勉強は英語は単語をほぼ完ぺきって言えるくらいの状態にして文法をしていました。長文などはまだしていなかったです。日本史は資料と教科書を使って覚えていくことをしていました。国語は古文だけ苦手ということもあり勉強していました。数学は基礎が全然できていないと思ったのでフォーカスゴールドをやり直していました。数学が苦手だったので長い時間をかけていました。国公立は教科数が多いから不安になると思うけど理科やもう一つの社会などは気合で詰め込むつもりで勉強していました。自分の中で優先順位をつけるのも大切です。

③9月～11月

行事なども終わってあとは勉強を頑張るだけ。私は12月から過去問を一気にやると決めていたのでこの時期はまだ参考書や問題集などをしていました。日本史だけはアウトプットを始めたかったので11月の途中から過去問を解き始めました。理科や社会などはこの時期以降にぐんぐんのびていくから本当にコツコツ覚えていってほしいです。私はこの時期に夏に受けた模試が返ってきて思うようにのびておらず落ち込みました。判定は気にするなって言われるけど気にしてしまっていました。でも落ち込んでいても点数は上がらないし変わるわけじゃない。落ち込むときはとことん落ち込んでもいいと思います。そこからまた頑張ろうと切り替えることが大事です。

④共通テスト前

私は直前まで共通テストの過去問や共通テストの予想問題を解いていました。問題形式と時間になれるためです。理科や社会など知識を詰め込むものは最後まで一問一答などもしていました。過去問を解くときはちゃんと時間を計ることとやり直しをしっかりとすることが大切です。この時期は本当にしんどい時期だけどどれだけ解いたか、やりきるかで自分の自信も変わると思うから踏ん張って頑張ってください。私は過去問を13年分くらい、予想問題もたくさん解きました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

私の学部は国語の記述問題と面接でした。記述の勉強は添削をしてもらい、書き直すことが大事です。二次試験の科目が一教科しかなかったので毎日5時間ほどしか勉強していなかったです。あと面接がある人はやりすぎくらい練習しとくくらいでちょうどいいと思います。先生に頼みましょう。

*私立入試直前

私は一般入試を一つの大学しか受けなかったのでたくさんの大学の対策をしなくてよかったです。国公立の二次試験の勉強と私立の勉強を両方していました。正直共通テスト前のほうが時間

的にはきつきつだったので一問一問を大事にしていました。私は共通テスト利用というのを考えていたのでそういう方法もあるとかは見といたらいいと思います。

(5) 大学受験で大切なこと

人と比べず最後まで自分を信じて勉強を続けることだと思います。模試の点数や過去問が良くなくても自分が目指している道に進めるようにあきらめないことが大事だと思います。先生方がおっしゃっている最後まで伸びるというのは本当だと思います。実際、私は12月の模試から共通テスト本番までで40点伸びました。伸びない時期は絶対にあります。判定が悪くても思うように点数が取れなくても自分を信じて頑張ってください！！

(6) 後輩へのメッセージ

私は勉強は1人ですものだと思っていました。でもそれは全然違いました。受験期を支えてくれたのは友達、先生、家族など周りの方です。学校で頑張っている友達と話したりして刺激をもらったり息抜きしたり先生に相談したり話を聞いてもらったりなど1人で抱え込むのは本当にしんどいです。だから誰でもいいから自分の話を聞いてもらえる友達や先生、家族に頼ってください。そして受験が終われば周りの人に感謝を伝えましょう！！あと私は絶対学校にはちゃんと行ったほうがいいと思います。友達の顔見るだけで頑張ろうとか思えたりします。無理しすぎず、息抜きもして頑張ってください。応援しています。

⑧M. Uさん 愛媛大学 理学部 前期合格 吹奏楽部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

吹奏楽部に所属していて、ほぼ毎日部活動があったので家での勉強時間があまり確保出来ていませんでした。なので、部活動と勉強が両立できていたとはあまり言えません。でも、自分なりに効率の良い勉強をして、部活動を全力で楽しむことを目標にしていました。普段の授業では板書や教材、先生の話をよく聞いて学んだ内容に納得できるようにしていました。分からないことや納得できなかったところは調べたり先生に聞くことで、家では予習・復習・演習に効率良く取り組むことが出来ました。

(2) 1.2年時の学習方法

1年生の頃は授業のスピードについていけなかったり、解けない問題を分かったつもりの状態にしてしまっていたので、なかなか成績が上がらませんでした。2年生になってからは部活動や学校行事の中心となって動くことが増えたので時間が足りないと思う時が何度かありました。なので、数学・物理の演習時間を確保するために、国語・社会は出来るだけ授業中に理解し、家では軽い予習復習だけを行っていました。英語・社会の暗記することは声に出して覚えたり、数学や物理のグラフや図をフリーハンドで書く練習もしていました。

(3) 志望校の決定について

学部や学科、やりたいことは1年生の時に確定していたので、初めは学びたいことが出来る大学を国公立、私立や偏差値に関係なく調べました。大学のHPや研究室の内容も調べました。2

年生の時は、興味のある学校のオープンキャンパスや説明会に行きました。実際のキャンパスや大学生の雰囲気を感じることができ、受験に対して少し現実感や意欲がわきました。そして、3年生の前期に国立1校・私立2校の志望校を考えていましたが12月ごろに国立を2校に増やしました。私立専願か併願かなかなか決めることが出来ず、何度も担任の先生に相談して併願に決めました。最終的な第1志望校は共通テストの自分の得点率や2次試験の難易度を考えて確定させました。志望校はなかなか決まらなくても候補があると選ぶことが出来ますが、学部は早いうちから決めておく方がいいと思いました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

夏頃まで部活動があり、週3日ほど部活動に参加していました。部活動に参加する日は家での授業の予習復習、活動に参加しない日は学校の講習や教室での勉強が中心でした。夏までは本格的な受験勉強はあまりしていませんでした。

②夏休み

例年より夏休みが短かったので、多くのことは出来ませんでした。主に、問題傾向や難易度を知るために志望校の過去問と共通テスト対策として共通テスト試験の過去問を解きました。どちらもより多くの問題に触れることを目的としていました。

③9月～11月

新しく学ぶ単元も減ってきたので、定期テスト対策と演習を中心に言い、時間をはかり私立の過去問を解いていました。

④共通テスト前

共通テスト：私立：国立を8：5：2くらいで勉強していました。私立入試は共通テストが終わってすぐに始まるので、共通テストだけでなく私立の対策もしておいた方がいいと思います。共通テストは情報量が多くなると聞いていたのでスピードと正確さを重視して勉強していました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

家で長時間勉強することが苦手だったので、毎日学校に行って教室で勉強して友達とお互いに教え合っていました。国立は記述式だったので先生に添削・採点をお願いしていました。その時、数学の記述は人に説明するように書き、丁寧な記述が出来るように意識していました。

*私立入試直前

私立に限らず直前に新しいことに手を出さない方がいいと聞いたので、入試の3日前くらいからは、新しいことを覚えるのはやめて、今までやってきたことの確認をしていました。

(5) 大学受験で大切なこと

私がかげだと思ったことは3つあります。1つ目は模試の見直しです。模試の結果には判定や偏差値だけでなく単元ごとの得点が載っています。なので、自分の苦手を見つけてそこを勉強することが出来ます。2つ目は私立受験についてです。私立には同じ学科でも日程や教科の配点などが異なる様々な種類の入試の「型」があります。また国公立と違い、複数出願することもできます。ですから、早い内から調べたり、金銭面のことを親御さんと相談することが大切です。3つ目は適度に休むということです。受験勉強は思っているより長く感じたので、休息をとって自分の

ペースで受験勉強と向き合っていくことが大切だと思いました。

(6) 後輩へのメッセージ

受験勉強をしていくと不安なこと、心配なこと、悩みなどが出てくると思います。そんな時は一人で悩まず先生や家族、誰にでもいいのでとにかく声に出して吐き出してみると良いと思います。たくさん悩んで相談して自分の納得のいく進路を見つけてほしいです。頑張ってください！！

**⑨Y. Oさん 奈良県立医科大学 医学部 看護学科 前期合格
バドミントン部**

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

私はバドミントン部に所属していました。両立させるために部活前や部活後などできるだけ時間を作り塾に行っていました。自宅でもちょっとした時間に単語などを覚えたりしていました。

(2) 1.2年時の学習方法

塾は1年生の最初の頃から行って、学校の課題や塾で出される宿題がメインです。あとは、テスト前の勉強だけです。

(3) 志望校の決定について

奈良県立医科大学を知ったのは、塾の先生に教えてもらったからです。そして、自分で調べてみると自宅からも通いやすく、大学病院が隣にあるので実習のときの負担を減らすことができると思ったからです。また、数学が苦手だったのですが奈良県立医科大学は数学1科目で受験可能だったため志望しました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

今年は、コロナの影響で3年生になってからは、ほとんど部活がなく、休校期間も結構あったので引退前と引退後ではあまり変化はなかったです。休校期間中は気分転換もかねて英語の音読をよくしていました。

②夏休み

共通テスト対策としてセンター試験の過去問や共通テストの予想問題をやっていました。そして、できなかった所の知識を入れなおしたり、苦手科目や分野をもう一度勉強しなおしたりしていました。

③9月～11月

公募推薦のための過去問を解いていました。また、二次試験は比較的科目が少なかったため、共通テスト対策をしていました。特に今まであまり対策ができていなかった漢文、古文や苦手な数学などを勉強しました。

④共通テスト前

全教科まんべんなくやり、そのうえで苦手な数学は他より時間をとって勉強をしていました。また、共通テスト試験の過去問や共通テストの予想問題などを解きなおしたりしていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

私は2次試験の科目が面接と小論文だったので、2月の授業が無くなってからも何度か学校に行き、担任の先生に面接の練習や小論文の過去問の添削をやってもらっていました。

*私立入試直前

私立の科目は生物、英語、国語のマーク式だったので、国語の四字熟語や慣用句を勉強したり共通テストは生物で受験して生物基礎の抜けている範囲などの勉強をしていました。英語は単語や熟語などを覚えていました。

(5) 大学受験で大切なこと

試験の直前まで見直したり、試験中わからない問題がでてきたりしても諦めずに取り組むことだと思います。私も実際、試験の直前に見ていたものが問題に出たことがありました。また、共通テスト本番わからない問題に出くわして焦りましたが、図式化したりして最後まであきらめずに問題に取り組んだことが合格につながったと思います。

(6) 後輩へのメッセージ

面接は苦手で不安でしたが、学校で練習していくうちにできるようになっていきました。また、面接官はとても優しくしたのでほとんど緊張しませんでした。なので、苦手でもしっかり練習すればできるようになると思うのでそこまで不安に思わなくて大丈夫だと思います。また、私は推薦入試の小論文の受験時に時計が数分ずれていて最後まで書ききることができなくてとても後悔しました。なので、しっかり時間の確認をして試験に臨んで、最後まで諦めずに取り組んでください。

⑩T. Iさん 神戸市外国語大学 外国語学部（英米） 前期合格 部所属なし

(1) 教科外活動（部活動）と学習との両立について

部活動はしてなかった。勉強時間は多く確保できたものの全くしない日もあったし、しても教科の好き嫌いで大きく勉強時間に偏りがあった。積み重ねが苦手なタイプだったが、振り返ると日常的に英語に触れる機会が多かったと思う。3年になるとますます忙しくなって苦手を克服するのが不可能に近づくが自分ではできなかった。3年の春休みがラストチャンスだと思ってほしい。

(2) 1.2年時の学習方法

何も計画的に行なえなかったし、普段の小テストが受験にどうつながるのか理解できていなかった。どの科目も知識が大きく点数に直結するが、同時に量に比例して時間がかかる。3年になって同じ内容を覚え直すのに時間を使わないでいいように普段からの小テストの機会を大切にしたい。経験から古語単語を早めに進めたほうがいい。自分は授業が過去問演習になってからもまだ基礎的なものも覚えられてなく他教科の勉強時間を削ることになった。

(3) 志望校の決定について

神戸市外大を目指したいなあとは薄っすらと中学の時から思っていた。逆に初めから考えてい

たので苦手な教科を作ってしまったかなと思う。ただ大体このレベルの学校というふうに曖昧なまま過ごすのではなく具体的な学校名を意識するようにしたほうが良いと思う。大学は自分が四年間過ごし人生の方向を決める大切な時期なのでネームバリューより自分にあっているかどうかを重視したほうが良いと思う。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

クラブには無所属。学校が始まり自分より英単語を覚えている友達を見て焦り、大学生の知り合いから選択の世界史を早めに進めたほうが良いと言われことから英単語の記憶と歴史の流れを掴むことに5、6月は注力した。(英単語は最後まで毎日) 以下は自分の例

英語：単語 長文 500~700words / 世界史：授業の復習 自前の参考書の読み込み

国語：特にしてない / 理科基礎：一年の授業の復習

②夏休み

英語はほぼ毎日長文を読んだ。本来は長文も練習を始めるとよいができなかった。点が伸びていなかった古典は文法を徹底的にやった(単語の知識の定着とバランスが悪く結局伸びず。)世界史はこれまで習った分を先生みたいに一人語りしてアウトプット

英語：長文 文法問題 / 世界史：上に同じ + 流れを一人語りする

国語：漢字 古典 / 理科基礎：上に同じ

③9月~11月

夏に受けた模試の成績を見て細かく勉強量を調節した。英語は10月の共通模試一週間前までは二次の過去問を解いた。世界史は11月くらいにやっと20世紀までの範囲の流れを掴んだ。また冬休みに向けて苦手な範囲の特定をした。理科基礎は演習授業が終了しいろいろな問題を解いた。

英語：長文 ちょっと英作文 / 世界史：上に同じ + 一人語り

国語：問題演習 (まだ単語を覚えてない) / 理科基礎：問題演習

④共通テスト前

12月からは共通テストにむけ勉強。後回しにしていた古語単語と英語の文法問題の不足分を覚える作業をした。逆に点の安定していた英語の量を減らし世界史をさらに増やした。

英語：上に同じ / 世界史：共通テスト過去問 (20年分位) 一問一答

国語：古語単語 漢文詰め込み 漢字 / 理科基礎：問題演習

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

英作文は読解に比べて点が伸びやすい。英作文はむやみに書くのではなくどこに配点があるのか研究しそこを取りに行く練習をした。記述対策に世界史は単語をひねり出すだけでなく単語を見てそれがどういうものか説明する練習を一問一答で行った。

*私立入試直前

英語は文法の割合が高かったので重点的におこなった。大学によって配点が大きく違うので配点に合わせて勉強量を変えた。国公立受験に不要な分野も出てくる場合があり、割り切る勇気が必要だった。関関同立レベルだとどこも社会の単語レベルは国公立より高い場合が多い。(その分記述あり)

(5) 大学受験で大切なこと

諦めないこと。自分の場合、あと二ヶ月の11月に返ってきた模試の判定もEだった。ちょっとへこんだが自分を信じ、「なんとかなる精神」をより意識した。伸びない時期は誰にでもあると思うがそこで対策を考え、行動を起こし続けることをやめないことが大学受験において大切なことになると思う。マジで成績は最後まで上がるので諦めてはいけません。諦めるなんていつでもできます。

(6) 後輩へのメッセージ

八尾高校では本当にいい友達に囲まれて勉強できます。周りの勉強している人を見ていると自分も頑張ろうという気持になれるし、効率よく苦手を発見できます。どうかそんな友達を大切にしてお互いにいい刺激を与えあえる関係を築いてください。先生方もいつも最高のサポートをさせていただきますので、ぜひ自分を信じて充実した受験生活を送ってください。きっと辛かった受験生活が良い思い出になる日が来ると思います！

⑩T. Tさん 大阪府立大学 工学域 電気電子系学類 中期合格 硬式テニス部

1. 初めに

僕の文章を含め、他の人の体験記もあくまでその人自身の考え方なので全部を鵜呑みにせず、おいしいとこだけ持って行ってください。僕は国公立理系志望だったので、この話は基本的に国公立向け、かつ理系向けです。ただ、私立志望や文系の人も勉強の仕方や考え方を吸い取っていただきます。ここからそこそこの量の話が来ます。長い読みたくないよーって人は最後に要約したものがああります。そこだけでも読んでね。

2. 略歴

- 1～2年 クラブ三昧、定期テストは課題のみ勉強、前日に仕上げる
- 3年4月 コロナでクラブが気づかぬうちに引退、勉強の切り替えタイミング見失う
- 夏休み ほぼ毎日遊ぶ、志望校をなんとなく決める(阪大)、オープン模試受ける(惨敗)
- 9月 阪大の推薦入試のための志望理由書を書き始める、受験勉強はしていない
- 11月 1月 少し勉強し始める(2時間ほど)、河合模試63%で絶望する
- 12月 阪大の推薦入試が書類で落とされる、友達に教えながらその問題を勉強するようになる、私立は関大、同志社を選ぶ
- 1月 本格的に勉強を始める、共通テスト715/900、共テ後、初めて二次試験対策をする
- 2月 関大・同志社合格、阪大受験
- 3月 阪大不合格、府大合格

3. 志望校の決定(推薦の勧め)

結論から言います。まだ決まっていない人はとりあえず京大、阪大を志望しましょう(この2大学は大体の学部が揃っています)。僕は2年の頃から何となく阪大志望でしたが、共テ後、そこ

まで結果が良くなかったので、阪大を受けるか市大にするかとても迷いました。結果的に阪大に落ち、府大に入学しましたが、市大を受験していたら府大には受かっていなかったと思います。

「この学校でしかやっていないようなコースがある！」といったことがない限り、難関大学を志望しておくのはモチベーションの向上、維持につながります。そしてここからは推薦入試の話です（指定校推薦とは違い国公立の推薦入試）。推薦と聞くと「自分はそんなに優等生じゃなかったし…」と思う人もいるかもしれませんが、しかし、思ったより推薦要件が甘かったりします。なので、志望校を決めたらとりあえず希望の学部には推薦入試がないかを調べ、先生に自分は受けられるレベルにあるかを確認することをおすすめします。

4. 勉強方法

受験生は遊んでないで1日中、十数時間も勉強しないといけないんだ…、とっているそのあなた！これは半分正解で半分間違いです。確かに、勉強の総量として合計何千時間もするのは正解です。しかし、1日に13、4時間も勉強する必要など全くないのです。なんならそのやり方はとても効率が悪いです。人間の集中力というのは15分刻みで切れやすく、平均で45～60分、長くて90分しか持たないと言われていています（詳細は調べてね）。単純計算で1日に13時間も勉強すると、睡眠時間や食事の時間を考慮すると必ず90分以上勉強を続けていることとなります（後述のやり方ならギリギリいけるかもしれないがそこまで詰めなくてよい）。ではどうすれば効率よく勉強を長くできるか、ここで出てくるのが「115法」です（今、名付けました）。これは、1時間勉強→15分休憩→1時間勉強を繰り返す方法です。これを日中の活動に合わせて組み込んでみてください。「夜9時以降はゲームしたいから勉強したくないな」と思うなら9時までの時間で組み込んだり、「僕にご飯をゆっくり食べたいんだ！」と思うなら昼食・夕食の時間を1時間半とったりしてもかまいません。なにも気にしなくても7、8時間は勉強時間を確保できます。その代わりにその1時間は全力で勉強してください。そして15分で目と脳を休ませてあげてください（できればここではゲーム・読書はしない方がいい。頭を空っぽにして音楽聞いたりするのが○）。これが最も良い勉強法だと僕は考えます。受験期になると周りの奴らが勉強時間マウントをとってきて不安になるかもしれませんが、逆に「効率悪いやり方してるなあ」と思ってスルーしてやりましょう。

ここからは各教科の「これだけはやっつけ！」っていうものです。共通テスト用と二次試験用に分けて書いていきますので参考までに。

まずは共通から

- ・国語 過去問や予想問題の解説をしっかりと読む
- ・数学 問題集や教科書の例題を解く、穴埋め形式に慣れる（攻略法を見つける）
- ・英語 単語帳（なんでも）を一冊やりきる（完璧に覚えられてなくてもいい）
- ・物理 公式を覚える（各公式を関連付けて覚える）
- ・化学 実験などの化学反応を実際に見てみる（動画等で）
- ・社会系 一問一答をクイズ形式で解く（できれば友達と）

次に二次試験（物理選択国公立理系）

- ・数学 記述のやり方を学ぶ（先生に解いた過去問を採点してもらおう）
- ・英語 英作文の添削をしてもらおう、短い文章をたくさん読む（長文読解に繋がる）

- ・物理 過去問を受験大学問わず解く（問題に慣れる）
- ・化学 資料集を隅々まで読む

最後に勉強時期について。基本的に11月後半から共テ対策を始めて大丈夫です。心配な人は11月頭から始めるのがいいと思います。過去問は夏休み辺りに確認のために1年分、それ以外は共テ後でやるのがいいです。前期まで基礎固め→後期から実践問題の流れがちょうどいい区切り方だと思います。国公立受験者は私立対策をそこまで気にしないでいいです。私立1週間前から過去問を解くようにすれば十分間に合います。自分を信じましょう。

5. まとめ

- ・志望校を最初は高めに設定
- ・推薦を視野に入れる
- ・1時間勉強→15分休憩のループ
- ・共テ対策は11月あたりから
- ・過去問大事
- ・量より質

受験で一番大切なこと、それは計画をどれだけ練れるかです。きちんと最初に計画を立てれば、何も心配いりません。自分で計画できる力がこの先、生きていく上でも重要になってきます。塾に行っている人は、課題を出されたり、授業という形でスケジュールリングされていきますが、行っていない人はそれがありません。自分だけで計画立てが難しいと思うなら、先生に聞くのが一番です。先生方も一度は受験を経験しています。また、ここにある体験談なども活用して、自分に合ったやり方を組み合わせて受験を乗り切ってください。考えられないとは思いますが、受験勉強をゲーム感覚で楽しめるようになれば勝ちです。競争意識を持ちながらも友達と協力して合格をつかみ取ってください。

6. あとがき

ここからは完全に僕独特の考えです（読みたい人だけ）。まず思うのが、塾の必要性です。勉強なんてやろうと思えば誰でもどこでもできるんですよ。それなのにお金払って塾に行ってる、これってよく考えてみれば何か違うんですよね。そのお金で参考書買えば？って思うんですよ。塾に行ってる人にこの話をすると、よく言われるのが「自分で勉強始められへんから、塾行ってお金でやる気を買ってる」って言われます。確かに自分で切り替えられないならその選択もありなのかなって思います。でも、僕としては塾なしで頑張ってほしいですね。あまり気にしすぎるのはよくないと思いますが、私立理系の授業料って1年で120～170万するんですよ（国公立は約53万）。お金に余裕ある人は大丈夫だと思うんですけど、奨学金やいろいろあるんでやっぱり安い方がいいんですよね。実際、僕はそうゆう選び方しましたし。思っている以上に受験にはお金がかかっているということを頭の片隅に置いておくといいかなと。これがまず一つ目です。

2つ目。今まで長々と勉強法とかつらつら書きましたけど、実際、僕が勉強しっかり始めたのって12月からなんですよ。この体験記にはテンプレがあるんですけど、それ通りに書くと「共通テスト前」の項目まで書くことがないんですよ…。絶対に参考にしてはいけません、共通テストも二次試験も真剣にやれば1か月ずつでも最悪なんとかなります。みんなは早めに始めようね。

最後にもう1つ。11月あたりになると家や塾の自習室で勉強して学校に来なくなる人がたくさん出てきます。これも人によると思うのですが、あまりおすすめしません。そこまでカツカツに詰めすぎるより、友達と一緒に休み時間は喋って息抜きして、授業中は自習すればいいです（先

生の許す範囲で)。「いらぬ科目の授業に出たくない」と考えるかもしれませんが、それ以上に行くメリットがたくさんあります。一番は先生にすぐ質問できること。思い切って何でも聞いてみたらいいと思います。そもそも高校はタダで行けているわけじゃないんだよ。使える物は使い倒してやりましょう。以上で終わりです。若干自慢話のように見える物を長々とすいません。この体験記ぐらい我を強く持ってくれば受験なんて楽勝です。応援しています。

⑫M. S さん 大阪府立大学 地域保健学域 総合リハビリテーション 栄養療法学専攻 後期合格 バレーボール部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

私は1年生からずっとバレーボール部に所属していました。週一回のオフ以外はほとんど毎日練習でしたが、家に帰ってからは課題をしたり小テストの勉強をしていました。定期テスト前は自主練習をこまめにしながら勉強をして、テスト明けでも動けるようにしていました。部活と勉強を同時にこなすのは大変だったけど、楽しかったこともつらかったこともいい思い出になったので部活を続けてよかったなと思います。

(2) 1.2年時の学習方法

1.2年生の間は正直、課題をきちんとこなす、授業を聞く、定期テストはベストを尽くす、これぐらいしかしてなかったです。定期テストの勉強は一週間前から試験のスケジュールに沿ってこの日はこれを勉強するっていうことを決めて計画的にしていました。あとはちゃんと睡眠時間をとることを大事にしていました。私は朝型なので早めに寝て朝5時に起きてその日の科目の復習をしていました。

(3) 志望校の決定について

私は将来なりたいものが高校に入る前から決まっていたので志望校を決めたのは1年生の夏でした。第一志望は決めていましたが、その大学以外はほとんど調べていなかったのが2年生の時にいろんな大学のオープンキャンパスに行って第二志望以降の大学も決定しました。志望校は早いうちに決めて目標をたてて勉強するとモチベーションアップにもつながるので、1年生の時からいろんな大学のオープンキャンパスに行った方がいいです。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

新型コロナウイルスの影響で6月に予定されていた引退試合がなくなりましたが、顧問の先生が8月に試合の場を設けてくださり、学校に通えるようになってからその試合の日までは部活は全力でして、それ以外の時間は勉強していました。先生が私たちのために用意してくださった機会を無駄にはしたくなかったのが、まずは健康第一に無理しすぎないように自分でこなせる量を調整しながら勉強していました。

②夏休み

夏休みの間は、部活を引退してから文化祭の準備をしていました。文化祭の準備期間が例年より短くてすることが多かったけど、それ以外の時間は基礎的な問題を重点的に勉強していました。

どれだけ忙しくても、隙間時間を見つけて単語帳を開いて勉強していました。部活の引退が延びた分、周りよりも勉強時間が少なかったので少しでも追いつこうと必死でした。

③9月～11月

私は毎日の生活リズムを決めて勉強していました。朝の準備が終わって8時になるまでは単語帳をみて、授業が終わったら20Nで6時半まで勉強して、家に着いたらごはんとお風呂を済ませ、8時から11時まで勉強して寝る、という流れで毎日勉強していました。塾に行っていなかったので勉強は家か学校かレンタル自習室で自分の苦手分野や基礎を中心に勉強していました。参考書は進路指導室で借りたものや自分で購入してものを使っていました。

④共通テスト前

共通テストの実施は私たちの年が初めてだったので、どんな問題形式が出てきても対応できるようにいろんな問題集やセンター試験の過去問を解いていました。共通テストの一週間前は健康第一にリラックスして苦手分野の復習をしていました。一週間で新たに覚えられる量は限られているので、私は今まで学習してきたことをもう一度見直す事をしていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

志望校の試験は記述が多かったので、教科書を読み直して単語の意味を言葉で説明できるようにしたり、先生に添削してもらったりして対策をしていました。また、後期は面接試験だったので、前期試験が終わってから先生に指導してもらいました。

*私立入試直前

私立入試は得に対策はしていませんでした。過去問も1年分しただけで何もしませんでした。マーク式だったので共通テストの勉強をしていれば十分だったので、国公立の試験を優先して勉強していました。

(5) 大学受験で大切なこと

私が大切にしていたことは3つあります。1つ目は学校に行くこと。塾に行かなかったので授業をきちんと聞いていました。2つ目は元気であること。体調を崩さないようにするもちろん、ストレスをためないために制限しながら好きなアーティストのライブや番組を見ていました。3つ目は諦めないこと。第一志望の大学は不合格でしたが、後期まで粘り、国公立大学に進学することができました。つらくても、最後まで全力で挑めば必ず報われます。

(6) 後輩へのメッセージ

受験勉強の期間は、はっきり言ってしんどいです。コロナの影響でできないことも増えるし、模試の結果も伸びないしつらいことばかりです。でも楽しいこともあります。3年生は行事を全力で取り組んでください。めっちゃいい思い出になります。勉強はちょっとくらい休んでも大丈夫です。その分また頑張ればいいです。私は第一志望にいけなかったけど後悔はしていません。終わったときに頑張ったと胸を張っていえるように走り抜けてください。応援しています。ファイト!!

⑬M. Kさん 大阪府立大学 現代システム科学域 環境システム学類
学校推薦型合格（共通テストなし） 書道部

（1）教科外活動（部活動）と学習との両立について

私は週に1回、19時まで活動がある書道部に所属していました。部活のある日や文化祭の前は疲れていることが多かったので、無理に勉強しようとは思わずに次の日にある小テストの勉強だけ最低限する、と決めていました。その他の日は授業の復習や、定期テストの提出物を早めに取り組むようにして、定期テストで点数をしっかりとることを目標にしていました。

（2）1.2年時の学習方法

入学して初めて受けたスタディーサポートのテストが思っていたよりも悪かったことをきっかけに、週に一回塾に通い始めました。家では授業の予習はほとんどしていませんでしたが、定期テストで7割後半から8割の点数を取ることを目標に復習には定期的に取り組んでいました。テスト範囲の問題集（特にサクシードなど）は2～3周できるように計画を立てて提出物をしていました。2年の後期には受験のために英単語や古典などの基礎知識を少しずつ身につけていきました。

（3）志望校の決定について

1年生の頃は実家から通える国公立に進学しようとだけ考えていました。学部を決めるときは、将来的に役立つ国家資格がとれるところを軸に探していましたが、最終的には自分が興味を持っていた環境や地域再生の分野を学べる環境システム学類に決めました。とりあえず家から通えそうな範囲にある大学のパンフレットをたくさん取り寄せたり、ホームページをじっくり見たり、2年の12月頃から春休みにかけて本格的に志望校を探し始めて、3年の4月頃には第一志望を決めました。

（4）3年時の学習方法

①部活引退前

後輩たちが中心になって部活を引っ張ってってくれていたもので、受験勉強に取り組みやすかったです。9月の文化祭で引退だったので、引退するまでは必要な教科の基礎を定着させることを中心に勉強していました。この時期はなかなか受験生という実感がわからず、計画的に勉強に取り組むということは大変でしたが、学校である講習には積極的に参加していました。

②夏休み

私は推薦で受験しようと考えていたので、共通テストの勉強をしながら基礎を固めつつ、志望理由書や面接の準備も進めていました。推薦では英語と国語の小論文があったので、英単語や文法、読解に力を入れて計画的に取り組んだり、八尾高校から紹介された河合塾の小論文講座を受けに行ったりと、推薦の勉強は充実して取り組みましたが、数学や理科科目はなかなかモチベーションが上がらず中途半端なまま夏休みが終わってしまいました。

③9月～11月

まず始めに夏休みにできなかった勉強を終わらせました。次に、私が受けた推薦は11月末に本番があったので、それまでに小論文の過去問や志望理由書を先生に添削してもらったり、面接練習を何度もいろいろな先生にしてもらったりしました。この時期は推薦と共通テストの勉強を同

時に進めなければいけなかったのととても大変でした。絶対に第一志望に合格する、という気持ちがないと難しかったと思います。大学の過去問は12月から解こうと思っていました。それまでに基礎を完璧にしようと学校で使っている受験対策の問題集や進路閲覧室で借りられる本など使って勉強していました。あとは、学校で行われる講習に積極的に参加していました。

④共通テスト前

社会や理科科目は過去問を何度も解いて足りない知識を補ったり、問題の考え方に慣れる練習をしたりしました。他にも今までに解いてきた問題でできなかった部分の解き直しや不安な単語を見返すなどをしていました。共通テストの第1回目ということで過去問はセンター試験のものを使ったり今までに受けた模試や予想問題をたくさん解いて問題に慣れるように取り組みました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

推薦で必要だった科目と2次で必要な科目が被っていたことと、2次の勉強を本格的に始める前に推薦で合格したことでほとんど対策はしていませんでした。

*私立入試直前

私立は学校によって問題の形式が違うので、時間配分などに慣れるために何回か解いたほうが良いと思います。

(5) 大学受験で大切なこと

自分がその大学に合格したいという強い意志を持つことだと思います。その気持ちがしっかりとあると、勉強が疲れて嫌になったり、成績が思うように伸びていかなかったりしても受験勉強に対するモチベーションを保つことができます。そしてもう一つは基礎力です。全ての教科に共通して言える事で、焦らずじっくりと身に着けることでテストの点数にも表れてくるし、精神的にも落ち着いて自信をもって受験に挑めるようになると思います。

(6) 後輩へのメッセージ

まず始めに伝えたいのは、先生から何回も言われましたが、受験に使う科目を早めから絞らないほうが良いと思います。私は受験科目に数Ⅲと化学が必要なかったのですが、定期テストで欠点を取らないことだけを心がけて授業を聞いていました。第一志望はそれでよかったのですが、第二志望以降や後期の大学を決めるときに影響が出て大変でした。また私の場合、結局大学の授業で将来的に必要なになってきたので、まんべんなく学校で習っている教科に取り組んだほうが良いと感じました。受験勉強を続けていると思うように成績が伸びなかったり、周りと比べてしまって自分の取り組んでいることが本当に正しいのか不安になってくることもあると思います。実際に私も、推薦で必要な面接の内容を考えている間、周りの子は問題集に取り組んでいて焦っていたことがありました。でも、受験が終わる最後まで自分のことを信じてください。焦らなくてもしっかりと勉強に取り組んでいれば自然と力はついてきます。あとは勉強の合間にしっかりと息抜きもしてリラックスしてください。テレビを見たり、ゲームをしたり、昼寝をしたり…時間を決めて、オンとオフの切り替えができるなら勉強により集中して取り組めるようになります。受験勉強にこんなに必死に取り組めるのは今だけだと思うので辛いことも人生経験だ、今後の役に立つと思って楽しみながら頑張ってみてください！

⑭R. I さん 岡山大学 教育学部 総合型合格 ハンドボール部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

正直できてなかったと思います。平日はクラブをして家に帰ったらご飯を食べて寝るという生活でした。

(2) 1.2年時の学習方法

2年の夏に志望校を決めるまではテスト前の1週間だけ勉強をしていました。志望校を決めてからは塾に通い、ほぼ毎日英語や数学の勉強をしていました。

(3) 志望校の決定について

元々大阪から出ようと思っていたので地方の国公立大学を探していたところ岡山大学を見つけ、オープンキャンパスに行ってみるとのどかな雰囲気や教育学部の説明を聞き、2年生の夏に岡山大学の教育学部にしよう決めました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

塾で数Ⅲと物理を勉強していました。春休みの間にどちらも一通り勉強できたのは後々アドバンテージになったと思います。

②夏休み

ひたすら岡山大学の過去問や共通テストの過去問を解いたりあまりできていなかった物理と科学に重きを置いて勉強をしていました。

③9月～11月

大学の2次試験対策はいったん置いて、共通テスト予想問題や夏の模試で特に点数が低かった科目の勉強をしていました。

④共通テスト前

古文と漢文の点数が低かったのでその二つの勉強を12・1月はしていました。正月が終わってからは予備校が出していた共通テスト予想パックを買って共通テストと同じ時間で解いていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

志望校や同じくらいの難易度の大学の過去問をひたすら解いて添削をしてもらい色々な問題を解けるようにしていました。

*私立入試直前

入試の2日前から取らなければいけない問題がどういうものなのかを確かめる感じで私大の過去問を解いていました。

(5) 大学受験で大切なこと

模試をできるだけ受けて判定だけを見るのではなく、自分が志望している大学の学部内順位を見て合格圏内かどうかを見たほうがいいと思います。

(6) 後輩へのメッセージ

勉強をやるのに遅すぎることはないといいますが、遅すぎたらホンマにどこも受からないと思うので、なるべく早く志望校を決めて勉強を始めたほうがいいと思います。

⑮U. S さん 同志社大学 文学部 一般入試合格 バスケットボール部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

私が受験勉強を本格的に始めたのは3年生の3月頃で、その時期のクラブ活動はほぼない状態だったので勉強だけに集中することができていました。1.2年生の普段から自主学習する習慣はありませんでしたが、定期テストではがっつり勉強して良い成績を取るようになっていました。

(2) 1.2年時の学習方法

正直、受験を意識した勉強はできていなかったと思います。定期テストで点数を取るために復習のしやすいように、先生が口頭で言ったことをメモしたりなど、自分なりに分かりやすいノート作りを心がけていました。

(3) 志望校の決定について

同志社大学は関関同立の中で1番の大学ということもあって、何となく1年生の時から行きたいとは思っていましたが、本格的に志望校に決めたのは2年生の半ばの進路相談があったあたりだと思います。私は数学が苦手であつ、オープンキャンパスにもたくさん行って個人的には国立大学よりも私立大学の方が魅力的だと感じ、同志社大学に決めました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

3月から引退までの期間はほぼクラブがなかったので実質引退していたようなものですが、この期間はとりあえず勉強する時間を確保し、基礎をひたすら固めていました。私は1.2年生の間に受験勉強は全くしていませんでしたが、この期間で周りの人に追い付けたと思います。とりあえず塾にこもって朝から晩まで勉強する癖をつけられていいスタートダッシュが切れたと思います。勉強の内容に関しては、英語に特に力を入れて、単語、熟語、文法を共通テストレベルにまで持って行くことが出来ました。この時期に英語の土台をきちっと作れて読解等にスムーズに入ることができたと思います。

②夏休み

夏休みも春休みと同じく朝から晩まで勉強する事を当たり前にしていました。夏休みのメインはアウトプットでした。春休みから夏までにかけて基礎のインプットはほぼ出来ていたので、夏休みでは共通テストの問題演習を何度も繰り返していました。英語、国語は問題に慣れるか慣れないかでかなり点数が変わってくるので、この期間で共通テストの問題に慣れることが重要だと思います。問題を解くと必ず基礎レベルでも取りこぼしの内容が出てくるのでやり直しとしてインプットも同時並行で行っていました。私は私立が第一志望だったので、この時期ぐらいから入試問題も解き始めていました。しかし、日本史に関してはこの時点ではあまり覚えられていませ

んでした。

③9月～11月

この時期は主に日本史のインプットと入試対策をしていました。英語は得意だったので点数が取れる時もあったけれど、安定した点数を取ることを目指してひたすら問題を解いていました。国語は古文単語があいまいなどころが多かったので単語を1からやり直して古文の点数を安定させることを目標にしていました。日本史はやっても忘れる科目なので忘れても音読を通して何度も復習していました。ここで大切なことは背伸びせずに自分のレベルの勉強をすることです。たしかに入試で焦って不安になる気持ちは分かりますが、出来ないことは出来ないです。基礎が抜けているのに応用は出来ません。例えば、私の場合、英語は入試問題を解くレベルまで達していたので演習を重ねましたが、古文や日本史はアウトプットよりもインプットをメインで勉強していました。自分にあったレベルで着実に実力をつけていくことが大切だと思います。

④共通テスト前

共通テスト前はひたすら共通テストの演習をしていました。初めての共通テストだったので、いろんな予備校の予想問題を解いてパターンに慣れるようにしていました。直前は国語の今までの模試等で間違えた漢字の問題を復習したりしていました。

⑤共通テスト後

*私立入試直前

英語、国語に関しては入試問題を解き、丁寧なやり直しを繰り返し、日本史に関しては最後の最後まで抜けているところを出来るだけ埋められるように復習していました。

(5) 大学受験で大切なこと

私が受験で1番大切だと思うことは自分で考えて能動的に勉強するということです。塾や予備校に通っていても、勉強のカリキュラム等を提示されると思いますが、他人に言われたことをただこなしているだけでは受かる可能性は低いと思います。本当に自分に今どんな勉強が必要で何の力が足りていないかを自分で分からない人は勉強のモチベーションも低くなると思うし、たとえ量をこなしても自分のやるべき事を理解して勉強している人達には到底叶わないと思います。特に上位の大学になると受かる人はほとんどが能動的に勉強している人達だと思うので、自分で考えて勉強を進めて行く力はとても大切だと思います。

(6) 後輩へのメッセージ

勉強することがつらいと感じている人はいるかもしれないけど、そう感じた時は是非クラスの子や同じ塾にいる友達を見てみてください。おそらくみんな頑張っているはずですよ。周りが頑張っている環境にいれば人は頑張れると思います。実際、私もその経験があります。だから先生がよく言う「受験は団体戦」というのはある意味正しいと思います。大学に受かれば勉強してよかったと思える日が必ず来ると思うので最後まで頑張ってください！

⑩A. Aさん 関西学院大学 社会学部 一般入試合格 ハンドボール部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

私はハンドボール部に所属していて、勉強時間は1、2時間程度で部活動で疲れて寝てしまう日も結構ありました。部活動では勉強のことは気にせず、クラブ仲間との時間を大切にしていました。正直勉強よりも部活動を優先していました。

(2) 1.2年時の学習方法

1年生と2年生の前半は、授業の復習を中心としていて、2年生の後半は受験勉強の基礎をしていました。具体的には単語をひたすら覚えました。学校で行われる小テストなどはしっかりと勉強していました。定期テストは2週間前でくらいからちょっとずつ提出物を終わらせていき、1週間前に集中して勉強し、1日前に全力で暗記やひたすら問題を解くという作業をしていました。

(3) 志望校の決定について

私の将来の夢は中学校の教員だったので、それに合わせて大学や学部を決めました。自分のいきたい大学は指定校にあって、行こうかなと迷っていたのですが、第1志望の学部ではなかったので、一般受験にしようという覚悟を決めました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

コロナ期間で家にいることがほとんどで、塾も空いてない日々が続きました。部活はコロナの影響で、次の大会まで練習するか、自然に引退するかは2択だったのですが、私は後者を選びました。けれど、自分が納得するところまで部活はやりきるべきだと思います。コロナ期間に出された学校の課題をコツコツやるようにしていました。受験勉強に役立つと思うものは時間をかけて、自分には必要ないと思ったものはすばやく、効率よくやりました。

②夏休み

夏休みは文化祭の準備などで、正直あまり勉強に集中できていませんでした。けれど、文化祭のおかげでクラスみんなの仲が深まったりしたので、行事はしっかり参加するべきだと思います。集中できてないとはいっても勉強する時間がないという日は絶対ないようにしていました。

③9月～11月

私は夜起きて勉強するのが苦手家で休憩する時間も欲しかったので、夜1時くらいまでに寝て、6時前におきて7時すぎくらいに学校につくようにして勉強していました。朝は夜より断然頭に勉強内容が入ると思います。そしてスキマ時間にスマホを触ったりするのではなく、単語帳を見るようにしていました。授業もただ授業を受けるだけじゃなくて、受験勉強と関連付けて、真面目に受けていました。授業時間に意図的に寝てしまうと、本当に時間ももったいないので、寝ないようにしていました。私はおそらく周りの子たちより過去問を解き始めるのも、過去問を解く量も少なかったです。その理由は過去問を解いて、あともうちょっと基本を抑えていたら解けたという問題が多かったのも、そこを答えることが出来れば点数は必然的に上がるという考えだったからです。けれど、大学によって問題形式は本当に違うので、大問の何番にこんな問題がでてくるなどは確実にしておくことが本番で必要だと思います。

④共通テスト前

共通テスト利用も一応考えていたので、対策をしっかりとしましたが、あまりいい点数がとれなかったため、そこから気合いもさらに入れ直しました。公募推薦も全部落ちてしまって、今のままではどこも受からないと本当に焦ったので、勉強時間というよりも、集中力を高めて勉強しました。

⑤共通テスト後

*私立入試直前

私は入試前に、いつも取れていた点数が取れなくなって、過去問を解くのが怖くなってしまいました。ですから、無理に過去問を解くのではなくいままで自分で学んできたことをしっかり頭にいれることを意識しました。具体的には英単語、イディオム、古典単語、日本史の単語や細かい部分をさらに復習しました。

(5) 大学受験で大切なこと

勉強を十分に行うことはもちろんですが、やはり本番が勝負で、本番の日に力を出せなかったから悲しい結果になってしまうのが現実なので、今まで自分はやってきたと自分を信じて、精神を安定させて挑むことだと思います。あと周りとは比べすぎないことも重要で、不安になると自分より下の人を見つけて安心しようとしがちですが、そんなことをしても自分の身にならないので、自分の勉強に集中できる空間を自ら作ることを意識することが大切です。

(6) 後輩へのメッセージ

受験勉強はとてもしんどいもので、やめなくなる日がくるかもしれませんが、最後までやりきることが本当に大事なので、人生で1番勉強する1年って思って頑張ってください！

⑰H. Fさん 早稲田大学 社会科学部 一般入試 バスケットボール部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

僕はバスケ部だったので、八尾高の中でも部活は忙しい方でした。練習もきつい日が多かったので、毎日数時間だけでも受験に向けて勉強をするようにしていました。例えば、自分の気に入った単語帳を休み時間に見たり、寝る前に少し勉強したりしていました。

(2) 1.2年時の学習方法

1年の時には、特に勉強は意識していませんでした。2年の最初は定期テストだけでも頑張ろうと思い始め、夏休みが終わるぐらいに受験を意識して自分で単語帳を買い、隙間時間を使い始めました。とにかく勉強を習慣にしたかったので、修学旅行のホテルでも時間を取って、単語の勉強をしていました。

(3) 志望校の決定について

2年の夏までは同志社大学に行けたら良いと考えていましたが、早稲田のスポーツ科学部に通う兄に少し馬鹿にされたのが悔しくて、兄より賢いところに行きたいと思ったのが早稲田を目指したきっかけです。慶應も考えたのですが、慶應は国語の代わりに小論文が入試で課されるので、

その対策をする時間は無いと思ったので、結局、早稲田を受けようと思いました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

正直この時期は勉強が間に合わないかもしれないと毎日不安に思っていました。だから、家に帰って風呂から上がるとすぐに勉強を始めていました。その頃から、どんどん勉強時間を伸ばせるように頑張っていました。

②夏休み

一番病んでいた時期です。なかなか勉強が上手くいかない上に、文化祭の準備に時間を取られたので1回本当に早稲田を諦めようと思いました。しかし、諦めるのはまだ早いと思い直しもう1度基礎からやり直しました。ここで基礎をしっかりと固めない絶対合格出来ないと思ったので、8月は4時寝、7時起きの生活をしていました。

③9月～11月

記述模試の英語で偏差値が72ぐらい出て、ちょっと嬉しい時期でした。でも、私立を志願している人は本当に模試は関係ないなと思い始め、E判定でも気にしなくなりました。実際、どれだけマーク模試が解けても、過去問が解けないと合格出来ないので、過去問を解けるように勉強していました。

④共通テスト前

僕は社会ではなく文系数学で受験したので、直接共通テストの数学の点が入る早稲田法学部のために数学だけ解いていました。結局、数学ⅠAⅡBで85%ぐらいで上手く行かなかったし、法学部の英語でもミスったので、合格できませんでしたが。

⑤共通テスト後

*私立入試直前

とにかく過去問を解いて、やり直しをしていました。数学はだいぶ基礎を固めていたのでそれほど時間を割いていませんでした。

(5) 大学受験で大切なこと

1つ目は諦めないことです。自分は早稲田はE判定しか取ったことが無いですし、同志社も一番良くてC判定で、だいたいE判定でした。でも、同志社の法学部に合格できたし、早稲田の社会科学部にも合格出来ました。だから、私立を目指す人は最後までやり通すことが大切です。2つ目は予備校の金ずるにならないことです。予備校に行けば賢くなるという考えは間違いで、自分の勉強を補うために予備校を利用するという考えじゃないと志望校に合格できる学力は身につかないと思います。自分はスタサプと参考書でなんとかなったので、私立を目指す人は、結局、自分次第だと思います。

(6) 後輩へのメッセージ

私立の人は上記の通りです。国公立志望の人は2次試験で戦える力をつけて欲しいです。というのも共通テストと2次試験は難易度がかけ離れているので、早めに基礎を固めてほしいです。あと、市大を目指していたら、関関同立のどこかには受かるという考えも捨てたほうがいいです。ちゃんと勉強をして、ちゃんと学力を身につけないと眼中にもなかった大学に行くことになるかもしれません。基礎を怠らず、最後まで頑張ってください。



大阪府立八尾高等学校